

2020年 通常総会 議案資料

日時：2020年3月19日(木) 16:00～17:00
場所：東京大学 本郷キャンパス 工学部2号館 1階212号講義室

16:00～17:00 通常総会

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事

第1号議案	議事録署名人の選出	2
第2号議案	2019年度 事業報告	2
第3号議案	2019年度 収支決算報告	8
第4号議案	2020年度 事業計画	13
第5号議案	2020年度 収支予算	17
第6号議案	2020年度 理事および監事の選出	18

4. 閉会

17:00～17:20 フェロー贈呈式/学術奨励賞授与式



特定非営利活動法人
日本バーチャルリアリティ学会

第1号議案 議事録署名人の選出

理事から2名を議事録署名人に選任します。

第2号議案 2019年度 事業報告

2019年度は、例年の主要行事として、第24回目となる大会を東京大学において開催いたしました。また、第16回VR技術者認定セオリーコース講習会（東京6月）・試験（東京・大阪7月）を、第17回VR技術者認定アプリケーションコース講習会（東京11月）・試験（東京・大阪12月）を行いました。

1. 会員に関する事項

2019年度は、1996年に学会が発足して以来24年目に入り、引き続き、各種行事、学会ホームページなどにおいて、入会者の勧誘を行いました。賛助会員の新規加入は4社を得ました。また、2019年通常総会議決により、正会員77名・賛助会員1名を会員資格喪失（定款第9条 会費未納）とさせて頂きました。

	正会員	学生会員	賛助会員
1996年度末数	381	100	31
1997年度末数	497	149	38
1998年度末数	578	172	38
1999年度末数	628	205	38
2000年度末数	692	228	37
2001年度末数	686	230	34
2002年度末数	761	257	33
2003年度末数	788	265	30
2004年度末数	844	273	26
2005年度末数	828	269	21
2006年度末数	869	191	23
2007年度末数	835	268	23
2008年度末数	832	281	23
2009年度末数	842	263	22
2010年度末数	855	307	18
2011年度末数	848	361	20
2012年度末数	853	341	20
2013年度末数	857	312	20
2014年度末数	867	307	18
2015年度末数	900	303	19
2016年度末数	960	335	34
2017年度末数	1033	383	40
2018年度末数	1078	379	40
2019年度末数	1047	453	41
2019年度目標	1090	390	42
2019年度目標との差	▲43	63	▲1

2. 広報・出版に関する事項

(1) 学会誌

2019年度は、第24巻として、3月、6月、9月、12月と年間4回の発行を行いました。
3分野の特集を企画し、No.4では、東京大学で行われた第24回大会報告を特集致しました。

	特集内容
Vol.24, No.1	VRとメディアアート・芸術表現と科学技術の往来-
Vol.24, No.2	VR応用と新興企業
Vol.24, No.3	令和時代のHMD
Vol.24, No.4	第24回大会報告

(2) 論文誌

2019年度は、論文誌を3月、6月、9月、12月と年間4回発行しました。4分野の特集を企画し、特定領域の成果を一覧できるように致しました。本年度の特集内容と掲載された論文数は以下の通りです。

	特集内容	特集 投稿(採録数)	一般 採録数
Vol.24, No.1	VR心理学7	14(7)	8
Vol.24, No.2	トレイグジスタンス	7(3)	2
Vol.24, No.3	アート&エンタテインメント5	18(12)	2
Vol.24, No.4	ウェアラブル技術と知覚・運動・認知拡張	16(7)	3

種類	基礎論文	応用論文	コンテンツ論文	総説論文	ショートペーパー	計
論文数	11	4	2	1	6	24

(3) 文化・芸術

2019年9月14日にVR文化フォーラム2019 in 清澄白河、2019年10月28日～30日にVR文化フォーラム2019 in 瀬戸内国際芸術祭を開催しました。

(4) ニュースレター

会員宛てに月1回(年12回)、電子メールによるニュースレターの送付を行いました。同様に、学会WEBサイトへの投稿、そしてtwitterへの投稿を行ないました。内容は、1. 報告集 2. 学会からのお知らせ主催・共催行事のご案内/協賛行事のご案内/論文誌に関するご案内/ニュースレター編集委員会からのお知らせ 3. 関連情報 CALL FOR PAPER/CALL FOR PARTICIPATIONなどで構成され、バーチャルリアリティに関する国内外の情報を中心に情報提供を行いました。

(5) 電子広報

学会ホームページにて、年次大会、VR技術者認定制度、各種会議、論文誌特集等の情報を随時更新、また学会誌のバックナンバーを公開しております。(https://vrsj.org/)

3. 主催・共催事業に関する事項

2019年度に主催・共催した事業は以下となります。(■主催事業・□共催事業)

■ 第24日本バーチャルリアリティ学会大会

2019年9月11日～13日 東京大学

参加数 633名

一般講演 247件(OS, ICAT含) / 技術・芸術展示(OS含) 58件 / 企業展示 10社

特別講演 1: トレイグジスタンス—着想から TELESAR VI まで 40年の道のり 舘 暉

特別講演 2 : VR 教育研究センターとサービス VR 研究の夜明け 廣瀬 通孝

- 第 27 回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト (IVRC2019)
予選大会 2019 年 9 月 11 日～13 日 東京大学 (VRSJ2019 内)
 - ・ 応募 104 企画から選出された 23 企画が作品を展示. 10 作品が決勝大会に進出.決勝大会 2019 年 11 月 15 日～17 日 テレコムセンタービル (サイエンスアゴラ内)
 - ・ 一般学生部門 10 作品, Laval Virtual 招待 1 作品, ユース部門 4 作品, 計 15 作品が展示
 - ・ 総合優勝 「VR 消防体験 -炎舞-」 チーム: CyberSpaceLab (筑波大学 システム情報工学研究科)
 - ・ 日本 VR 学会賞 「La Plume et la Lanterne」 チーム: Frenchie Kokonattsu (Arts et Metiers ParisTech)
 - ・ 川上記念特別賞 「昆虫体験・かぶとりふと」 チーム: 餅は餅屋 (慶應義塾大学 大学院メディアデザイン研究科)
 - ・ Laval Virtual Prize 「きになるき」 チーム: チルドレン (東京大学 大学院情報理工学系研究科)ほか, 観客賞, 審査員特別賞, 協賛企業各賞を決定した.

- VR 文化フォーラム 2019 in 清澄白河
2019 年 9 月 14 日

- VR 文化フォーラム 2019 in 瀬戸内国際芸術祭
2019 年 10 月 28 日～30 日

- ICAT-EGVE 2019
2019 年 9 月 11 日 (水) ～13 日 (金) 東京大学本郷キャンパス
VR 大会と同時開催. 毎朝最初に行った基調講演と 2 日目の懇親会を一緒に実施.
参加者数 57 名 (VR 大会を含めると 633 名)
Full /Short Paper 15 件 (23 件投稿) Demo/Poster 16 件(18 件投稿)

- IEEE VR 2019
2019 年 3 月 23 日～27 日
参加者数 1067 名 (展示者, プレス, 家族等含めて 1222 名)
Paper 139 件 (TVCG 招待 11 件, 採択 33 件 (投稿 142 件) , Long 95 件 (投稿数 442 件)) ,
Poster 227 件, Demo 35 件

- World Haptics Conference 2019
2019 年 7 月 9 日～12 日 御茶ノ水ソラシティ
IEEE と共同主催
参加者数 約 800 名
Technical Paper 106 件, Work in Progress 90 件, Demo 65 件, Design Showcase 10 件, 学生コンテスト(SIC) 12 件, Workshop 5 セッション

- 第 28 回「人工現実感研究会」
2019 年 6 月 10 日(月)-6 月 11 日(火) 東京大学 山上会館
連催: 電子情報通信学会メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎研究会 (IEICE-MVE) ,
映像情報メディア学会ヒューマンインフォメーション研究会 (ITE-HI) , スポーツ情報処理時限研

究会（ITE-SIP），情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会（IPSJ-EC），情報処理学会ヒューマンコンピュータインタラクション研究会（IPSJ-HCI），ヒューマンインタフェース学会デバイスメディア指向ユーザインタフェース研究会（HI-SIGDeMO）

参加者数 85 名

発表件数 21 件

□ 高臨場感ディスプレイフォーラム 2019

共催：映像情報メディア学会（映像表現&コンピュータグラフィックス研究委員会，情報ディスプレイ研究委員会，立体映像技術研究委員会），画像電子学会（企画委員会），日本バーチャルリアリティ学会，電気学会（電子デバイス技術委員会 第三期次世代インタラクティブディスプレイ協同研究委員会），電子情報通信学会（電子ディスプレイ研究専門委員会）

2019 年 11 月 11 日 大田区民ホール・アプリコ（小ホール）

4. 企画事業に関する事項

2019 年度に企画した事業は以下となります。

(1) 研究委員会

計 16 の研究委員会が，下表のように会員に公開する研究会（含，他学会との共催），講演会，シンポジウムを開催致しました。研究委員会助成金には，8 つの研究委員会より申請があり，各企画が実施されました。この助成金は研究委員会が本学会員に有意義な活動を特別に企画する場合において，その企画を助成することにより VR に関する研究の発展に寄与することを目的としています。

研究委員会名	研究会開催回数	備考
サイバースペースと仮想都市研究委員会	5	継続
複合現実感研究委員会	6	継続
アート&エンタテインメント研究委員会	1	継続
VR 心理学研究委員会	3	継続
テレマージョン技術研究委員会	5	継続
香り・味と生体情報研究委員会	3	継続
拡張認知インタフェース調査研究委員会	1	継続
ハプティクス研究委員会	6	継続
情報技術と文化の融合調査研究委員会	5	継続
3次元ユーザインタフェース研究委員会	1	継続
デジタルミュージアム研究委員会	1	継続
VR と超臨場感研究委員会	2	継続
トレイグジスタンス研究委員会	3	継続
超高齢社会の VR 活用研究委員会	1	継続
超人スポーツ研究委員会	1	継続
神経刺激インターフェース研究委員会	2	継続

(2) VR 技術者認定講習会・認定試験

VR 技術に関する教科書「バーチャルリアリティ学」をテキストとし，第 16 回 VR 技術者認定セオリーコース講習会（東京 6 月）・試験（東京・大阪 7 月），第 17 回 VR 技術者認定アプリケーションコース講習会（東京 11 月）・試験（東京・大阪 12 月）を行いました。

VR 技術者講習会／VR 技術者認定試験 参加者数

第 16 回 講習会 申込数 139 名 参加者 127 名（うち学生 42 名）

第 16 回 認定試験 申込数 258 名 参加者 235 名／合格者 208 名

VR 技術者講習会／VR 技術者認定試験 参加者数

第 17 回 講習会 申込数 135 名 参加者 128 名 (うち学生 45 名)

第 17 回 認定試験 申込数 252 名 参加者 219 名 / 合格者 204 名

5. 会議に関する事項

(1) 総会

2019 年通常総会を 3 月 29 日に東京大学本郷キャンパス工学部 2 号館にて行いました。

(2) 理事会

合計 6 回の理事会を開催いたしました。開催日程は次の通りです。

尚、理事会のない月に会長・副会長及び総務・経理担当者による総務会議を開催致しました。

回	開催日	会場	主な議事
165	1 月 30 日	国際文献社パブリッシングセンター8 階会議室	通常総会準備, フェロー選考報告, 各担当理事報告
166	3 月 1 日	国際文献社 パブリッシングセンター8 階会議室	通常総会資料確認, 2018 決算・2019 予算の提出, 各担当理事報告
167	5 月 31 日	国際文献社 パブリッシングセンター8 階会議室	論文賞選考, 各担当理事報告
168	7 月 19 日	国際文献社 パブリッシングセンター8 階会議室	論文賞選考, 各担当理事報告
169	9 月 11 日	東京大学 本郷キャンパス工学部 6 号館 2 階 63 講義室	第 24 回大会報告, 各担当理事報告
170	11 月 25 日	国際文献社 パブリッシングセンター8 階会議室	通常総会進行スケジュール確認, 第 24 回大会結果報告, 学術奨励賞結果報告, 次回大会について, 各担当理事報告

(3) 評議員会

回	開催日	会場	主な議事
1	3 月 29 日	東京大学 本郷キャンパス 工学部 2 号館 3 階 233 講義室	年間報告・計画について
2	9 月 11 日	東京大学 本郷キャンパス工学部 6 号館 2 階 63 講義室	年間報告・計画について

6. 表彰に関する事項

(1) フェロー

日本バーチャルリアリティ学会フェローは、バーチャルリアリティの学術文化および本会の発展に顕著な貢献を成し、将来にわたって本会の活動を積極的に推進しうる者を顕彰するために、2010 年度から称号授与が始まりました。本制度は、会員による推薦に基づいており、2019 年度の推薦書より、日本バーチャルリアリティ学会の活動に多大な貢献をなした以下の 1 名に贈呈することを決定致しました。

榎並 和雅 (東京工業大学)

(2) 論文賞

論文誌 Vol.23No.1 から Vol.23No.4 に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、5 件の論文に論文賞を贈呈致しました。

- 食卓へのプロジェクションマッピングによる食の知覚と認知の変容 ～天ぷらを例題として～
鳴海 拓志, 櫻井 翔, 谷川 智洋, 廣瀬 通孝 Vol.23, No.2 pp.65-74
- 仮想空間における視力
木島 竜吾 Vol.22, No.2 pp.137-143
- 視触覚間相互作用を用いた曲率操作型リダイレクテッドウォーキング

- 松本 啓吾, 鳴海 拓志, 伴 祐樹, 谷川 智洋, 廣瀬 通孝 Vol.23, No.3 pp.129-138
- 身体性変換スーツによる小児体験における知覚・運動特性の評価
西田 惇, 松田 壮一郎, 大木 美加, 高鳥 光, 佐藤 綱祐, 鈴木 健嗣
Vol.23, No.3 pp.149-158
- 自動車運転時の周辺対象認知における頭部と眼球運動
村瀬 健二, 金子 寛彦 Vol.23, No.3 pp.207-216

(3) 学術奨励賞

第 24 日本バーチャルリアリティ学会大会で優秀な発表を行った若手講演者 9 名に対して、学術奨励賞を贈呈することを決定致しました。

1 口頭発表部門

- 運動融合共有身体によるリーチング行動の解析
萩原 隆義 (豊橋技術科学大学)
- 遠隔共同作業のための搭乗感覚共有システムに関する研究
森田 翼 (首都大学東京)
- 微細環境下で感覚・運動機能を拡張するための指先装着型デバイス
大伏 仙泰 (東京大学)
- 遠隔体験の臨場感向上手法に関する研究
八木 龍之介 (首都大学東京)
- Dynamic Projection Mapping のための輪郭に基づく反復計算によるロバストな位置姿勢推定
森久保 優輝 (電気通信大学)

2 技術・芸術展示部門

- 臀部皮膚せん断刺激を用いた個人差を考慮した傾斜感覚の提示
矢内 智大 (東北大学)
- 落語初心者向けに仮想落語家体験を提供するバーチャル高座システムの提案
湯浅 賢悟 (明治大学)
- Virtual reality simulation for training of endonasal robotic suturing using multiple difficulty levels
HEREDIA PEREZ Saul Alexis (東京大学)
- 多様な形状知覚を提示するトルクフィードバック VR コントローラ
橋本 健 (東京大学)

第3号議案 2019年度 収支決算報告

1. 予算対比正味財産増減計算書

予算対比正味財産増減計算書

2019年 1月 1日から2019年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産利息	3,000	4,460	△ 1,460
受取入会金	900,000	804,000	96,000
受取会費	16,300,000	16,945,000	△ 645,000
正会員会費	10,000,000	10,120,000	△ 120,000
学生会員会費	1,500,000	1,820,000	△ 320,000
賛助会員会費	4,000,000	4,100,000	△ 100,000
一般会員会費	200,000	320,000	△ 120,000
購読会員会費	600,000	585,000	15,000
事業収入	134,928,500	90,740,812	44,187,688
過去会誌頒布収入	50,000	56,150	△ 6,150
研究会発表収入	121,270,000	72,802,657	48,467,343
年次大会	8,350,000	13,503,000	△ 5,153,000
IVRC	4,220,000	2,004,011	2,215,989
IEEEVR	70,000,000	3,688,872	66,311,128
WorldHaptics	35,000,000	47,923,458	△ 12,923,458
研究委員会活動収入	3,700,000	5,683,316	△ 1,983,316
管理費収入	7,703,500	7,960,005	△ 256,505
年次大会	1,500,000	1,500,000	0
IVRC	422,000	200,401	221,599
IEEEVR	2,000,000	409,875	1,590,125
WorldHaptics	3,500,000	5,324,829	△ 1,824,829
講習会	281,500	524,900	△ 243,400
通常総会収入	90,000	78,000	12,000
講習会収入	2,815,000	5,249,000	△ 2,434,000
投稿料収入	3,000,000	4,595,000	△ 1,595,000
雑収益	2,100,010	2,904,556	△ 804,546
雑収入	2,100,000	2,656,348	△ 556,348
受取利息	10	8	2
寄付金	0	248,200	△ 248,200
経常収益計	154,231,510	111,398,828	42,832,682
(2) 経常費用			
事業費	134,142,000	78,604,502	55,537,498
通常総会費	460,000	300,790	159,210
研究会発表会費	121,282,000	65,960,245	55,321,755
年次大会	8,350,000	13,270,952	△ 4,920,952
IVRC	4,220,000	1,200,831	3,019,169
IEEEVR	70,000,000	0	70,000,000
WorldHaptics	35,000,000	46,305,034	△ 11,305,034
研究委員会活動費	3,700,000	5,171,428	△ 1,471,428
その他	12,000	12,000	0
補助金費	1,500,000	1,500,000	0
IVRC	1,500,000	1,500,000	0
講習会費	2,600,000	2,898,140	△ 298,140
研究部会費	1,100,000	1,120,000	△ 20,000
印刷製本費	5,900,000	5,299,076	600,924
通信運搬費	800,000	810,248	△ 10,248
授与費	500,000	716,003	△ 216,003
管理費	12,843,000	19,698,808	△ 6,855,808
印刷費	200,000	80,237	119,763
消耗品費	200,000	5,496	194,504
諸会費	90,000	82,200	7,800
図書費	10,000	0	10,000
福利厚生費	20,000	0	20,000
通信運搬費	250,000	277,242	△ 27,242
情報システム管理費	2,740,000	1,946,554	793,446
電子広報費	170,000	165,000	5,000
会議費	240,000	338,161	△ 98,161
雑給費	2,000,000	1,999,560	440
光熱水料	90,000	75,600	14,400
賃借料	1,500,000	1,862,036	△ 362,036
顧問料	130,000	64,800	65,200
支払手数料	200,000	314,451	△ 114,451
租税公課	3,000	6,424,179	△ 6,421,179
事務局運営費	5,000,000	6,063,292	△ 1,063,292
その他	20,700,000	880,500	19,819,500
雑費	700,000	880,500	△ 180,500
準備金積立	20,000,000	0	20,000,000
経常費用計	167,685,000	99,183,810	68,501,190
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 13,453,490	12,215,018	△ 25,668,508
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 13,453,490	12,215,018	△ 25,668,508
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税、住民税及び事業税	0	3,173,500	△ 3,173,500
経常外費用計	0	3,173,500	△ 3,173,500
当期経常外増減額	0	△ 3,173,500	3,173,500
当期一般正味財産増減額	△ 13,453,490	9,041,518	△ 22,495,008
一般正味財産期首残高	94,257,238	94,257,238	0
一般正味財産期末残高	80,803,748	103,298,756	△ 22,495,008
II 正味財産期末残高	80,803,748	103,298,756	△ 22,495,008

2. 貸借対照表

貸借対照表

2019年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	57,687,489	46,272,651	11,414,838
未収金	11,265,789	6,454,501	4,811,288
前払費用	2,216	166,153	△ 163,937
流動資産合計	68,955,494	52,893,305	16,062,189
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事務局準備金	20,000,000	20,000,000	0
国際会議準備金	13,800,000	13,800,000	0
国内会議準備金	9,000,000	9,000,000	0
資料編纂・出版準備金	1,800,000	1,800,000	0
特定資産合計	44,600,000	44,600,000	0
(2) その他固定資産			
差入保証金	1,268,000	1,268,000	0
その他固定資産合計	1,268,000	1,268,000	0
固定資産合計	45,868,000	45,868,000	0
資産合計	114,823,494	98,761,305	16,062,189
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	7,966,257	3,039,976	4,926,281
前受金	267,000	271,000	△ 4,000
預り金	15,681	52,752	△ 37,071
未払法人税等	1,297,100	0	1,297,100
未払消費税等	1,978,700	0	1,978,700
流動負債合計	11,524,738	3,363,728	8,161,010
2. 固定負債			
退職給付引当金	0	1,140,339	△ 1,140,339
固定負債合計	0	1,140,339	△ 1,140,339
負債合計	11,524,738	4,504,067	7,020,671
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	103,298,756	94,257,238	9,041,518
正味財産合計	103,298,756	94,257,238	9,041,518
負債及び正味財産合計	114,823,494	98,761,305	16,062,189

3. 財産目録

財産目録

2019年12月31日現在

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金	現金	年次大会・IVRC運転資金として	11,991,287
		普通預金		43,607,075
		みずほ銀行本郷支店(2578257)	運転資金として(VRSJ)	38,351,471
		みずほ銀行本郷支店(2421498)	運転資金として(ICAT)	850,331
		三菱UFJ銀行本郷支店(4615998)	運転資金として	135,682
		きらぼし銀行春日町支店(4044400)	運転資金として	101,064
		りそな銀行本郷支店(1749463)	運転資金として	54,039
		サイバースペースと仮想都市研究委員会	運転資金として	458,895
		VR心理学研究委員会	運転資金として	106,558
		春りと生体情報研究委員会	運転資金として	405,645
		ハブテイクス研究委員会	運転資金として	2,341,007
		情報技術と文化の融合調査研究委員会	運転資金として	370,718
		3次元ユーザインタフェース研究委員会	運転資金として	170,981
		フレキシブルシステム研究委員会	運転資金として	184,354
		超高齢社会のVR活用研究委員会	運転資金として	281
		超人システム研究委員会	運転資金として	76,049
		郵便振替口座		2,089,127
		東京振替貯金局(00120-8-161702)	運転資金として	2,089,127
	未収金	未収会費	2018・2019年度未収会費	11,265,789
		論文集投稿料	論文投稿料Vol.23-3_1件、Vol.24-3_1件、Vol.24-4_9件	3,303,000
		研究発表会	第24回大会参加費、ICAT参加費	1,150,000
		その他請求	IEEEVR開催協力金、IEEE適当金返金、著作権料	1,838,000
		研究委員会口	キラキラ夏祭り支援金、委員会現金残	4,704,293
	前払費用		ドメインサービス利用料	270,496
				2,216
流動資産合計				68,955,494
(固定資産)	特定資産			
	事務局準備金	定期預金三菱UFJ銀行本郷支店(4615998)		20,000,000
		定期預金きらぼし銀行春日町支店(4019664)		10,000,000
	国際会議準備金	定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		10,000,000
	国内会議準備金			13,800,000
		定期預金りそな銀行本郷支店(4071426)		9,000,000
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		6,000,000
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		1,000,000
	資料編集・出版準備金	定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)	アート&エンタテインメント研究委員会	2,000,000
		定期預金みずほ銀行本郷支店(6689991)		1,800,000
	その他固定資産			1,000,000
	差入保証金			1,268,000
固定資産合計				45,868,000
資産合計				114,823,494
(流動負債)	未払金			
	印刷製本費	著者、国際文献社、レタープレス	Vol.24-4論文誌・学会誌関連委託費及びVol.24-4学会誌原稿料	7,966,257
	消耗品費他	役員立替	旧事務所整理用ダンボール代	1,330,766
	通信運搬費	国際文献社	10-12月分送料	4,600
	講習会費	東京大学、国際文献社	第17回VR技術者認定試験会場費及び業務委託費	40,130
	研究委員会口	委員立替	CUTE研究委員会諸経費	612,387
	大会	国際文献社	第24回大会業務委託費	93,453
	事務局運営費	国際文献社	10-12月事務局業務委託費	4,707,802
	その他	WHC2019、IVRC2019、千代田都税事務所	WHC及びIVRC未清算金等	1,075,503
	前受金			101,616
	入会金			267,000
	正会員会費			20,000
	賛助会員会費			92,000
	一般会員会費			2020年度分賛助会員会費
	購読会員会費			2020年度分一般会員会費
	預り金			2020年度分購読会員会費
	源泉税(報酬)	四谷税務署	研究委員会2件(VRpsy、NSI)、IVRC_1件、学会誌Vol.24-4原稿料_15件	25,000
	未払法人税等	四谷税務署、新宿都税事務所	2019年度法人税等	15,681
	未払消費税等	四谷税務署	2019年度消費税	1,297,100
				1,978,700
流動負債合計				11,524,738
負債合計				11,524,738
正味財産				103,298,756

4. 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書

2019年 1月 1日から2019年12月31日まで

特定非営利活動法人 日本バーチャルリアリティ学会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産利息	4,460	4,462	△ 2
受取入金	804,000	790,000	14,000
受取会費	16,945,000	16,900,000	45,000
正会員会費	10,120,000	10,600,000	△ 480,000
学生会員会費	1,820,000	1,520,000	300,000
賛助会員会費	4,100,000	4,000,000	100,000
一般会員会費	320,000	160,000	160,000
購読会員会費	585,000	620,000	△ 35,000
事業収入	90,740,812	25,037,809	65,703,003
過去会誌頒布収入	56,150	0	56,150
研究会発表収入	72,802,657	18,607,808	54,194,849
年次大会	13,503,000	10,144,003	3,358,997
IVRC	2,004,011	4,016,014	△ 2,012,003
IEEEVR	3,688,872	0	3,688,872
WorldHaptics	47,923,458	0	47,923,458
研究委員会活動収入	5,683,316	4,447,791	1,235,525
管理費収入	7,960,005	2,043,001	5,917,004
年次大会	1,500,000	1,500,000	0
IVRC	200,401	401,601	△ 201,200
IEEEVR	409,875	0	409,875
WorldHaptics	5,324,829	0	5,324,829
講習会	524,900	141,400	383,500
通常総会収入	78,000	68,000	10,000
講習会収入	5,249,000	1,414,000	3,835,000
投稿料収入	4,595,000	2,905,000	1,690,000
雑収益	2,904,556	1,914,869	989,687
雑収入	2,656,348	1,914,861	741,487
受取利息	8	8	0
寄付金	248,200	0	248,200
経常収益計	111,398,828	44,647,140	66,751,688
(2) 経常費用			
事業費	78,604,502	24,584,067	54,020,435
通常総会費	300,790	458,176	△ 157,386
研究発表会費	65,960,245	15,860,000	50,100,245
年次大会	13,270,952	8,348,672	4,922,280
IVRC	1,200,831	3,978,249	△ 2,777,418
WorldHaptics	46,305,034	0	46,305,034
研究委員会活動費	5,171,428	3,521,079	1,650,349
その他	12,000	12,000	0
補助金費	1,500,000	1,000,000	500,000
IVRC	1,500,000	1,000,000	500,000
講習会費	2,898,140	1,091,386	1,806,754
研究部会費	1,120,000	1,050,000	70,000
印刷製本費	5,299,076	3,874,236	1,424,840
通信運搬費	810,248	724,043	86,205
授与費	716,003	526,226	189,777
管理費	19,698,808	12,830,255	6,868,553
印刷費	80,237	79,070	1,167
消耗品費	5,496	116,224	△ 110,728
諸会費	82,200	90,000	△ 7,800
福利厚生費	0	22,283	△ 22,283
通信運搬費	277,242	252,223	25,019
情報システム管理費	1,946,554	1,074,266	872,288
電子広報費	165,000	162,000	3,000
会議費	338,161	140,642	197,519
雑給費	1,999,560	7,419,423	△ 5,419,863
光熱水料	75,600	115,377	△ 39,777
賃借料	1,862,036	1,901,795	△ 39,759
顧問料	64,800	237,600	△ 172,800
支払手数料費	314,451	192,605	121,846
租税公課	6,424,179	1,881	6,422,298
事務局運営費	6,063,292	1,024,866	5,038,426
その他	880,500	610,000	270,500
雑費	880,500	610,000	270,500
経常費用計	99,183,810	38,024,322	61,159,488
評価損益等調整前当期経常増減額	12,215,018	6,622,818	5,592,200
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	12,215,018	6,622,818	5,592,200
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
法人税、住民税及び事業税	3,173,500	0	3,173,500
経常外費用計	3,173,500	0	3,173,500
当期経常外増減額	△ 3,173,500	0	△ 3,173,500
当期一般正味財産増減額	9,041,518	6,622,818	2,418,700
一般正味財産期首残高	94,257,238	87,634,420	6,622,818
一般正味財産期末残高	103,298,756	94,257,238	9,041,518
II 正味財産期末残高	103,298,756	94,257,238	9,041,518

5. 会計監査報告

特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会

会長 岩田 洋夫 殿

特定非営利活動法人日本バーチャルリアリティ学会の2019年度決算報告書について監査を実施しました。その結果、帳簿類並びに領収書等は完備されており、支出ならびに収支決算について適切であると判断いたしました。

2020年 3月 2日

監事

榎並和雅 

2020年 3月 2日

監事

石橋聡 

第4号議案 2020年度 事業計画

2020年度は、学会発足以来25年目であり、これまでの実績に基づいて、より充実した学会運営体制を構築してまいります。おもな事業として、第25回大会を立命館大学大阪いばらきキャンパスで開催致します。これまで以上に会員サービスの一層の充実を図るとともに、学会の基盤をさらに固めるために、会員数の増加を推進致します。

1. 会員に関する事項

2020年度は、学会が発足後25年目であり、一層充実した組織体制を構築する必要があります。このため、会員増を目指した積極的な勧誘を継続的に実施いたします。学会WEBページでの入会受け付けなどにより、入会希望者の便を図るとともに、賛助会員についても関連団体・企業の新規加入を目指して努力いたします。2020年度の目標を次表に示します。また、定款第9条に従い、所定の手続きの上、正会員77名、賛助会員1名を資格喪失(会費未納入)とします。

	正会員	学生会員	賛助会員
2019年度末数	1047	453	41
2020年度目標数	1060	460	42

2. 広報・出版に関する事項

(1) 学会誌

2020年度は、第25巻として、3、6、9、12月の年4回の発行を予定しており、特集として以下の3分野の企画と、立命館大学で行われる第25回大会報告を予定しています。

	特集内容
Vol.25, No.1	自動走行とVR(仮)
Vol.25, No.2	VRと立体音響(仮)
Vol.25, No.3	(未定)
Vol.25, No.4	第25回大会報告

(2) 論文誌

2020年度も、論文誌は年4回(3、6、9、12月)発行します。会員からの投稿論文(基礎論文、応用論文、コンテンツ論文、ショートペーパー)および、特定のトピックスに焦点をあてた専門家による総説論文を対象とします。また、毎号特集テーマを決め、ゲストエディタをお願いして、特集論文の投稿を積極的に勧誘します。

尚、今後の特集内容は以下を企画しております。

	特集内容
Vol.25, No.1	つなぐ技術(人・モノ・社会)2
Vol.25, No.2	複合現実感8
Vol.25, No.3	障害者・高齢者・マイノリティ支援と人間拡張
Vol.25, No.4	力触覚デザイン

(3) 文化・芸術

■文化フォーラム・ASIAGRAPH

年に2回程度、国内/国外の研究機関・文化施設との連携による開催を検討しております。

2020年度は、下記について提案・企画予定です。

(1) ASIAGRAPH & VR文化フォーラム in 沖縄

秋以降から冬をメドに OIST 及び沖縄県立芸術大学を会場に、ASIAGRAPH と文化フォーラムを同時開催することを検討しております。

(2) VR文化フォーラム in Ars Electronica Festival

海外でのVR文化フォーラムとして9月にオーストリアリンツで開催されている Ars Electronica Festival を訪問するツアーを検討しております。

(3)VR 文化フォーラム小規模版

- ① 2020 年度年次大会（2020 年 9 月 16 日[水]～18 日[金]の会期前後に，東京都現代美術館で開催しているこども／大人むけ夏季企画「おさなごころを，きみに」展（本学会会員による VR・AR 系作品を展示予定中）の見学ツアー開催を検討しております。
- ② 「VR 文化フォーラム 202x in 瀬戸内」として，前回開催された文化フォーラム@瀬戸内国際芸術祭でツアーしきれず，見逃した島々を中心に巡って開催（直島のアート鑑賞，地中美術館，犬島などを訪問，常設展を見学）についてもご要望をいただいております，2020 に限らず繁忙期をずらすことで余裕をもって視察する方向で検討継続しております。

(4) ニュースレター

バーチャルリアリティに関する有益な情報を整理してニュースレター形式に編集し，月に 1 回，電子メールにて会員に送付します。また，ホームページでも会員向けに最新のニュースレターを掲載します。編集体制は委員長 1 名，幹事 2 名，編集委員 12 名，顧問 4 名から成り，各月を担当する 12 名の編集委員の任期は 2 期 4 年にて満了となります。

内容は，2019 度に続き「1. 報告集 2. 学会からのお知らせ 主催・共催行事のご案内／協賛行事のご案内／論文誌に関するご案内／ニュースレター編集委員会からのお知らせ 3. 関連情報 CALL FOR PAPER／CALL FOR PARTICIPATION」などで構成されます。

本学会員が国内外のバーチャルリアリティの動向や進行中のアクティビティを的確に把握できるよう努め，多様なイベントにあわせて随時特集を掲載，会員サービスの向上を目指して刊行いたします。

(5) 電子広報

取材や問い合わせに対応しています。

また，学会ホームページにて，年次大会，VR 技術者認定制度，各種会議，論文誌特集等の情報を随時更新，しております。（<https://www.vrsj.org/>）

(6) 出版

教科書「バーチャルリアリティ学」の更なる拡充を図ります。特にコンテンツ部分に最新の情報を盛り込めるよう，別冊発行等を検討します。

3. 主催・共催事業に関する事項

2020 年度は以下の事業を予定しております。（■主催事業・□共催事業）

- 第 25 回日本バーチャルリアリティ学会大会
2020 年 9 月 16～18 日 立命館大学大阪いばらきキャンパス
- ICAT-EGVE 2020
2020 年 12 月 2～4 日 in Florida, USA
- 第 28 回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト(IVRC2020)
予選大会 2020 年 9 月 16～18 日 第 25 回日本バーチャルリアリティ学会大会（立命館大学大阪いばらきキャンパス）内にて開催
決勝大会 2020 年 11 月 JST サイエンスアゴラ 2020（日本科学未来館・テレコムセンター）内にて開催（現在調整中）
- AsiaHaptics 2020 2020 年 11 月 9～11 日 北京
- 第 30 回「人工現実感研究会」
連催：連催：電子情報通信学会メディアエクスペリエンス・バーチャル環境基礎研究会（IEICE-MVE），映像情報メディア学会ヒューマンインフォメーション研究会（ITE-HI），スポーツ情報処理時限研究会（ITE-SIP），情報処理学会エンタテインメントコンピューティング研究会（IPSJ-EC），情報処理学会ヒューマンコンピュータインタラクション研究会（IPSJ-HCI），ヒューマン

インタフェース学会デバイスメディア指向ユーザインタフェース研究会（HI-SIGDeMO）

2020年6月1日（月）・2日（火）（予定）東京大学 山上会館（予定）

□ 高臨場感ディスプレイフォーラム 2020

共催／連催：映像情報メディア学会（映像表現&コンピュータグラフィックス研究委員会，情報ディスプレイ研究委員会，立体映像技術研究委員会），画像電子学会，電気学会（電子デバイス技術委員会，ユビキタスディスプレイ調査専門委員会），電子情報通信学会（電子ディスプレイ研究専門委員会）（予定）

日程調整中

4. 企画事業に関する事項

2020年度は以下の企画を予定しております。

(1) 研究委員会

各研究委員会は、本年度以下のように16の研究会在、シンポジウム、セミナー等の開催を予定しています。

各研究委員会が独自に企画して行方これらのイベントをより活性化し、VRに関する研究のさらなる発展に寄与したいと思っています。

研究委員会名	研究会開催回数	備考
サイバースペースと仮想都市研究委員会	5	継続
複合現実感研究委員会	6	継続
アート&エンタテインメント研究委員会	2	継続
VR心理学研究委員会	2	継続
テレマージョン技術研究委員会	5	継続
香り・味と生体情報研究委員会	3	継続
拡張認知インタフェース調査研究委員会	1	継続
ハプティクス研究委員会	6	継続
情報技術と文化の融合調査研究委員会	4	継続
3次元ユーザインタフェース研究委員会	1	継続
デジタルミュージアム研究委員会	2	継続
VRと超臨場感研究委員会	2	継続
トレイグジスタンス研究委員会	4	継続
超高齢社会のVR活用研究委員会	2	継続
超人スポーツ研究委員会	2	継続
神経刺激インターフェース研究委員会	2	継続
サービスVR研究委員会	2	新規（審議中）

(2) VR技術者認定講習会・認定試験

■第18回VR技術者認定講習会・試験（セオリーコース） 初夏予定

■第19回VR技術者認定講習会・試験（アプリケーションコース） 秋予定

5. 会議に関する事項

(1) 総会

2020年通常総会を3月19日に東京大学本郷キャンパス 工学部2号館にて行います。

(2) 理事会

合計6回（1月，3月，5月，7月，9月，11月）の理事会を開催する予定です。

尚、理事会のない月に会長・副会長及び総務・会計担当者による総務会議を開催する予定です。

(3) 評議員会

合計 2 回の評議員会を開催する予定です。

回	開催日	会場	主な議事
1	3月19日	東京大学 本郷キャンパス 工学部 2号館	年間報告・計画について
2	9月17日	立命館大学大阪いばらきキャンパス	年間報告・計画について

6. 表彰に関する事項

(1) フェロー

会長を委員長とするフェロー選考委員会を組織し、2020年フェロー称号の授与者を決定する予定です。

(2) 論文賞

論文誌 Vol.24, No.1 から Vol.24, No.4 に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、5件程度の論文に論文賞を贈呈する予定です。

(3) 学術奨励賞

第 25 回日本バーチャルリアリティ学会大会で優秀な発表を行った若手講演者に対して、学術奨励賞を贈呈する予定です。

第5号議案 2020年度 収支予算

収支予算書

2020年1月1日から2020年12月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 経常収益		
1 受取会費		17,707,000
受取入会金	800,000	
正会員会費(普通)	10,040,000	
正会員会費(上級)	270,000	
正会員会費(減免)	60,000	
学生会員会費	1,812,000	
賛助会員会費	4,100,000	
一般会員会費	40,000	
購読会員会費(書店)	110,000	
購読会員会費(図書館)	475,000	
2 受取寄附金		0
受取寄附金	0	
3 受取助成金等		0
受取補助金	0	
4 事業収益		27,068,000
年次大会	13,140,000	
IVRC	4,220,000	
研究委員会活動収入	670,000	
通常総会収入	90,000	
講習会収入	3,398,000	
出版収入	5,550,000	
5 その他の収益		305,000
雑収入	300,000	
受取利息	5,000	
経常収益計		45,080,000
【B】 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		0
人件費	0	
(2) その他経費		32,539,535
通常総会費	470,000	
年次大会	12,000,000	
IVRC	6,720,000	
研究委員会活動費	3,790,029	
支払負担金	12,000	
講習会費	2,270,506	
出版事業	6,577,000	
授与費	700,000	
事業費計		32,539,535
2 管理費		
(1) 人件費		0
人件費	0	
(2) その他経費		11,167,500
印刷費	100,000	
消耗品費	100,000	
諸会費	90,000	
通信運搬費	250,000	
情報システム管理費	1,150,000	
電子広報費	170,000	
会議費	350,000	
光熱水料	27,000	
賃借料	950,000	
支払手数料費	400,000	
租税公課	700,000	
事務局運営費	6,000,000	
雑費	880,500	
管理費計		11,167,500
経常費用計		43,707,035
当期経常増減額【A】-【B】・・・①		1,372,965
【C】 経常外収益		
経常外収益計		0
【D】 経常外費用		
経常外費用計		0
当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
税引前当期正味財産増減額 ①+②・・・③		1,372,965
法人税、住民税及び事業税・・・④		570,000
前期繰越正味財産額・・・⑤		103,298,756
次期繰越正味財産額 ③-④+⑤		104,101,721

第6号議案 2020年度 理事および監事の選出

本会定款第13条に従って、2020 理事および監事の選出を行います。
役員候補者選出選挙で選出された理事および監事の候補者は以下の通りです。

■ 会長		
任期 2 年 (改選 任期 2022 年 3 月まで)		
大須賀 美恵子	大阪工業大学	1957 年兵庫県生まれ。1979 年東京大学工学部計数工学科卒業，同年，三菱電機株式会社入社。中央研究所，先端技術総合研究所にて生理心理学分野の研究，バーチャルリアリティ応用を含むウェルネスシステム開発に従事。1994 年博士（工学）。2002 年大阪工業大学情報科学部情報メディア学科教授，2006 年同大学工学部生体医工学科教授，2010 年同大学工学部ロボット工学科教授，2017 年同大学ロボティクス&デザイン工学部学部長・ロボット工学科教授。2002～2005 年本学会理事。2018 年～本学会副会長，ヒューマンインタフェース学会会長，日本生体医工学会理事，日本人間工学会理事などを歴任。【2019 年度：副会長】
■ 副会長		
任期 1 年 (非改選 任期 2021 年 3 月まで)		
小木 哲朗	慶應義塾大学	1960 年神奈川県生まれ。1984 年東京大学工学部機械工学科卒業，1986 年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了，同年三菱総合研究所入社，1994 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了，博士（工学）。1996 年東京大学大学院工学系研究科助教授，1999 年通信・放送機構 MVL リサーチセンター研究員，2004 年筑波大学大学院システム情報工学研究科准教授，2008 年より慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科教授。ヒューマンインタフェース，バーチャルリアリティの研究，特に没入型ディスプレイ，高臨場感通信，VR/AR の各種アプリケーション開発に関する研究に従事。【2019 年度：副会長】
任期 2 年 (任期 2022 年 3 月まで) *新任		
相澤 清晴	東京大学	1983 年東京大学工学部電子工学科卒業。1988 年大学院博士課程修了。工博。東京大学助手，講師，助教授をへて，2001 年より教授。現在，大学院情報理工学系研究科電子情報学専攻 教授。この間，1990 年から 2 年間米国イリノイ大学客員助教授。画像・メディア処理に関する研究に従事。電子情報通信学会より，88 年学術奨励賞，90 年 論文賞及び米澤ファウンダーズメダル，92 年 業績賞，98 年 論文賞，99 年 エレクトロニクスソサイエティ賞を受賞。2002 年日本 IBM 科学賞受賞。IEEE Trans. Image Processing, Trans. Multimedia, Trans. CSVT の Associate Editor，電子情報通信学会情報システムソサイエティ会長を務めた。現在，IEEE MultiMedia, ACM TOMM 等 Editorial Board, ACM SIGMM Executive Comm. Member, 映像情報メディア学会会長を務める。ACM Multimedia2012, ACM ICMR2018 General Co-Chair をはじめとして多数の国際会議等へ貢献。IEEE / IEICE / ITE Fellow, 日本学術会議会員。
■ 理事		
任期 1 年 (非改選 任期 2021 年 3 月まで)		
雨宮 智浩	東京大学	2002 年東京大学工学部機械情報工学科卒業，2004 年同大学大学院情報理工学系研究科修士課程修了，同年日本電信電話株式会社入社，NTT コミュニケーション科学基礎研究所勤務。2019 年より東京大学大学院情報理工学系研究科准教授，現在に至る。東京大学バーチャルリアリティ教育研究センター准教授兼務。博士(情報科学)。2014～2015 年ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン (UCL) 認知神経科学研究所客員研究員兼務。触覚特性や身体感覚の錯覚を利用した情報提示インタフェースの研究に従事。2010 年～2014 年本学会ニューズレター編集委員会幹事。2015 年～本学会論文委員。2009 年～2019 年ヒューマンインタフェース学会評議員，2019 年～同学会理事。2013 年～同学会学会誌委員会幹事。2015 年～2017 年同学会論文誌委員会幹事。2017 年～信学会福祉情報工学研究会幹事。【2019 年度：理事】
伊藤 雄一	大阪大学	1998 年大阪大学工学部電子工学科卒業。2000 年同大学大学院工学研究科博士前期課程修了。2002 年同大学院情報科学研究科助手。2008 年より大阪大学クリエイティブユニット准教授。博士 (情報科学)。専門はヒューマンインタフェース，デバイスメディア，アンビエントコンピューティング，マルチモーダルデバイスなど。近年は特に人の行動取得と行動変容を無意識下を実施する無意識コンピューティングの研究などに従事。本学会ニューズレター編集委員 (2008-2012 年)，18 回年次大会幹事補佐・プログラム委員 (2013 年)，22 回年次大会プログラム委員 (2017 年)。【2019 年度：理事】

大谷 智子	東京藝術大学	東京藝術大学芸術情報センター助教。2004年、聖心女子大学大学院文学研究科人間科学専攻博士後期課程満期退学。東京大学大学院情報学環特任助教、東京大学インテリジェントモデリングラボラトリー特任研究員、東北大学電気通信研究所助教を経て、2015年度から現職。2008年に聖心女子大学にて博士号（心理学）取得。人間の色知覚に関する研究や、インタフェースやデジタルコンテンツの心理学的評価を行うとともに、当該分野の一般社会への理解増進事業に従事。近年は、錯視ブロックを用いた二次元平面と三次元立体の対応に関する研究や、マルチモーダル環境下における臨場感・迫真性に関する研究等を行っている。本学会では、日本VR学会学会誌編集委員（2015年～）（2015～2017年9月はVRメディア評論を担当）。情報技術と文化の融合調査研究委員会幹事（2007年～）を務める。 【2019年度：理事】
梶本 裕之	電気通信大学	1998年東京大学工学部計数工学科卒業。2001年同大学大学院計数工学専攻修士修了。同年日本学術振興会特別研究員（東京大学大学院情報理工学系研究科）、2003年東京大学大学院情報理工学系研究科助手、2006年電気通信大学人間コミュニケーション学科助教授、2007年同准教授、2010年電気通信大学総合情報学専攻准教授、2018年電気通信大学情報学専攻教授、現在に至る。博士（情報理工学）。2010年よりVR学会論文誌委員会幹事。主に触覚インタフェース、情動インタフェース等の研究に従事。2012～2015年本学会理事。 【2019年度：理事】
清川 清	奈良先端科学技術大学院大学	1994年大阪大学基礎工学部情報工学科三年次中途退学。1996年奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士前期課程修了。1998年同博士後期課程修了。1998年日本学術振興会特別研究員。1999年郵政省通信総合研究所（現・情報通信研究機構）研究官。2001年ワシントン大学ヒューマンインタフェーステクノロジー研究所客員研究員。2002年大阪大学サイバーメディアセンター助教授。2007年同准教授。2017年奈良先端科学技術大学院大学教授。現在に至る。博士（工学）。2002年Elsevier Computer & Graphics Best Paper Award, 2002年情報化月間推進会議議長表彰, 2006年本学会貢献賞, 2011年ICAT 2011 Best Paper Award等受賞。本学会では、学会誌委員, 論文誌委員, 企画委員, 情報システム委員, ICAT運営委員, 広報・出版委員, アジアグラフ運営委員, 10周年記念委員, 3次元ユーザインタフェース研究委員会委員（現幹事）, 複合現実感研究委員会委員（現顧問）, 第18回大会幹事などを務める。IEEE 3DUI Symposium Co-Chair (2008~2010), ACM VRST Program Co-Chair (2009), IEEE ISMAR Program Co-Chair (2012, 2013), IEEE VR General Co-Chair (2019, 2020), Program Co-Chair (2012, 2014, 2018)等を務める。拡張現実感, 複合現実感, 人間拡張, 3次元ユーザインタフェース, ウェアラブルコンピュータ, コンピュータビジョン, 協調作業などの研究に従事。 【2019年度：理事】
黒田 晴彦	デル	1980年東北大学電気工学科卒, 同年三井物産株式会社入社。1998年欧州三井物産システム課 General Manager, 2003年三井物産経営改革推進部 IT 戦略企画室長, 2009年 IT 推進部副部長。Chief IT Architectとして三井物産におけるグローバルシステム全体像のランドデザイン (IT-Landscape) 設計と構築を担当。2016年デル株式会社最高技術責任者に就任, デル日本法人が提供する技術及びエンド・ツー・エンドソリューションの展開を統括, 日本市場におけるVRの普及・拡大等の活動を推進中。 【2019年度：理事】
苗村 健	東京大学	1997年、東京大学大学院工学系研究科電子工学専攻博士課程修了。米国スタンフォード大学客員助教授（日本学術振興会海外特別研究員）を経て、2002年、東京大学大学院情報学環助教授。同情報理工学系研究科電子情報学専攻准教授を経て、2013年、同情報学環教授、現在に至る。メディア+コンテンツ、実写に基づく映像合成、複合現実感、実世界指向情報環境、アート&エンタテインメントなどの研究に従事。2013年、日本科学未来館において「現実拡張工房」の企画を開催し、129000名の来場者を記録。文部科学大臣表彰若手科学者賞、日本バーチャルリアリティ学会論文賞、ヒューマンインタフェース学会論文賞、映像情報メディア学会丹羽高柳賞論文賞、電子情報通信学会 HCG 賞、経産省 Innovative Technologies, グッドデザイン賞など受賞多数。博士(工学)。 【2019年度：理事】
野間 春生	立命館大学	1989年筑波大学第三学群基礎工学類卒業, 1994年筑波大学博士課程工学研究科修了。同年株式会社国際電気通信基礎技術研究所入所, 2013年から立命館大学 情報理工学部 教授。専門はバーチャルリアリティ, 特にハプティックインタフェース, さらには, ユビキタスコンピューティング, ウェアラブルセンサ, センサーネットワーク等の研究にも従事。博士 (工学)。日本バーチャルリアリティ学会, 計測自動制御学会, 電子情報通信学会, 日本ロボット学会, IEEE, ACM 各会員。本学会では初期のニューズレター委員, 学会誌委員, 論文誌委員などを過去に歴任。 【2019年度：理事】

森山 朋絵	東京都 現代美術館	東京都現代美術館学芸員（企画係主任）。1996年よりVR学会に参加，評議員，VR文化フォーラム／ASIAGRAPH 担当等を務める。1989年筑波大学大学院博士課程前期修了，後期退学。在学中より学芸員として東京都写真美術館・映像展示室の創立に携わり，国内外で約50本のメディアアート展を企画，2007年より現職。2005-2010年まで東京大学大学院情報学環特任准教授，2000年から現在まで早稲田大学（文学部，国際情報通信研究科，表現工学科）のほか，慶應義塾大学，東京藝術大学，独バウハウス大学，UCLA 他で教鞭を執る。2003年に文化庁在外派遣研究員として独 ZKM，米 MIT メディアラボに滞在，J. P. ゲッティ研究所コンサルティングキュレーター，アルスエレクトロニカ・グランプリ審査員，文化庁メディア芸術祭審査員，SIGGRAPH Asia2008（シンガポール）にて日本人初の Art Gallery／Emerging Technologies 議長，NHK 日本賞審査員などを歴任。文化審議会専門部会委員などの活動を通して，メディア芸術拠点としての公立文化施設の成立と展開，テクノロジーと芸術の協働や展示支援をテーマに研究と実践を行う。主な企画展に「映像体験ミュージアム」「文学の触覚」「名和晃平ーシンセシス」「吉岡徳仁ークリスタライズ」「ミッション[宇宙×芸術]」，文化庁メディア芸術祭海外展（リンツ市），同愛知展（旧「愛・地球博」会場）。主な著作に『映像体験ミュージアム』（共著・監修，工作舎），『絵コンテの宇宙』（監修，美術出版社），『Meta-Visual(French Edition)』（共著・監修）など。【2019年度：理事】
任期2年（改選 任期2022年3月まで） *再任		
今村 伊知郎	ソリッドレイ	1991年東京農工大学工学部電子情報工学科（旧応用物理科）卒，1994年同大学院工学研究科物理工学専攻博士課程後期中退，同年株式会社ソリッドレイ研究所入社，開発・サポート・営業支援などを渡り歩き，システム営業部に所属，専門部長。【2019年度：理事】【再任】
佐藤 克成	奈良女子大学	2006年東北大学工学部電気・電子・応物・情報学科卒業。2011年東京大学情報理工学系研究科システム情報学専攻博士課程修了，博士（情報理工学）。同年より日本学術振興会特別研究院（PD）として，慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント 研究科在籍。2013年より奈良女子大学生生活環境学部講師，現在に至る。触感情報伝達のための計測・提示装置の開発，温冷感の知覚メカニズムの解明および計測・提示 技術の応用などの研究に従事。【2019年度：理事】【再任】
長谷川 晶一	東京工業大学	1997年東京工業大学工学部電気電子工学科卒業。1999年同大学院知能システム科学専攻修士終了。同年ソニー株式会社入社。2000年東京工業大学精密工学研究所助手。2006年9月博士（工学）。2007年電気通信大学知能機械科准教授。2010年東京工業大学精密工学研究所准教授，未来産業技術研究所に改組，現在に至る。力触覚，物理シミュレーション，バーチャルヒューマン，ヒューマンインタフェースロボットの研究に従事。2011-14, 2018-19 本会理事【2019年度：理事】【再任】
柳田 康幸	名城大学	1988年東京大学工学部計数工学科卒業，1990年同大学院工学系研究科計数工学専攻修士課程修了，同年東京大学助手。2001年(株)国際電気通信基礎技術研究所(ATR) 研究員，2003年同主任研究員。2005年名城大学理工学部情報工学科教授，現在に至る。博士（工学）。本学会2006～2009，2012～2015年度理事（広報・出版/総務担当），第1, 2, 7, 9, 18, 19回大会実行委員，1996～2001年ニューズレター編集委員，2003～2006年同幹事（現顧問），2008年～2016年企画委員，2006年よりIVRC 運営委員，2007年よりICAT 運営委員，2013年より論文委員，2010, 2011, 2016, 2017年度評議員，2011～2013年香り・味と生体情報研究委員会副委員長，2014年～2019年同委員長などを務める。テレグジスタンス，触覚・嗅覚を含む感覚ディスプレイ技術などの教育研究に従事。【2019年度：理事】【再任】
任期2年（任期2022年3月まで） *新任		
黒田 嘉宏	筑波大学	2000年京都大学総合人間学部基礎科学科卒業，2005年同大学院情報学研究科社会情報学専攻博士後期課程修了。同年，同大学医学研究科特任助手，2006年大阪大学大学院基礎工学研究科助手，2013年同大学サイバーメディアセンター准教授，2016年同大学院基礎工学研究科准教授，2019年筑波大学システム情報系教授，現在に至る。博士（情報学）。物理モデルに基づく非拘束インタラクション技術，生体物理シミュレーション，医用システムに関する研究に従事。2006年～2010年本学会ニューズレター編集委員会ならびに学会誌委員会 委員，2012年～2018年本学会論文委員会 委員，2018年～同学会ハプティクス研究委員会 委員長。

永谷 直久	京都産業大学	2005年電気通信大学電気通信学部知能機械工学科卒業。2011年電気通信大学大学院電気通信学研究科博士後期課程単位取得済み退学。2012年3月博士(工学)。日本学術振興会特別研究員(DC1)。2012年東北大学大学院情報科学研究科研究特任助教, 2013年八戸工業大学防災技術社会システム研究センター博士研究員, 2015年京都産業大学コンピュータ理工学部助教を経て, 2018年より京都産業大学情報理工学部准教授, 現在に至る。ヒトの感覚知覚特性を利用した感覚拡張インタフェースの研究に従事。2005年より日本バーチャルリアリティ学会に所属し, 2014-2018 ニュースレター編集委員, 2017-VR 技術者認定制度委員会委員, 2017-学会誌編集委員会委員を務める。
鳴海 拓志	東京大学	2006年東京大学工学部システム創成学科卒業。2008年東京大学大学院学際情報学府修了。2011年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。東京大学大学院情報理工学系研究科知能機械情報学専攻助教, 講師を経て, 2019年より准教授, 現在に至る。博士(工学)。JST さきがけ研究者。クロスモーダルインタフェース, 人間拡張技術等の研究に取り組む。本学会では, ニュースレター編集委員会 委員(2011~2013) および幹事(2014~2017), 論文委員会 幹事(2016~), デジタルミュージアム研究委員会 幹事(2011~), 情報技術と文化の融合研究委員会 幹事(2017~), 複合現実感研究委員会 委員(2013~), VR 文化フォーラム運営委員会 委員(2014~), ASIAGRAPH 運営委員会 委員(2014~), 大会プログラム委員(2011, 2018), 企画委員(2013), 幹事(2014, 2019), 幹事(総務兼任)(2015)を務める。
野嶋 琢也	電気通信大学	1998年東京大学工学部計数工学科卒業。2003年同大学大学院工学系研究科先端学際工学専攻博士課程修了。博士(工学)。2003年航空宇宙技術研究所研究員, 組織改編により現在の宇宙航空研究開発機構研究員を経て, 2008年より電気通信大学大学院情報システム学研究科准教授。2016年より同大情報理工学研究科准教授。現在に至る。2008年より VR 学会企画委員, 2014年より同論文委員。触覚インタフェース, オープンメンテッドスポーツ, エンタテインメント等の研究に従事。2016年より超人スポーツ研究委員会幹事を務める。2015年度~2018年度理事(企画・認定担当。2017年度10月より総務担当兼任)
■ 監事		
任期1年 (非改選 任期2021年3月まで)		
石橋 聡	NTT テクノクロス	1982年 徳島大学大学院工学研究科(情報工学専攻)を修了。同年日本電信電話公社(現 NTT)入社。以来研究所を中心に, 画像処理・映像符号化技術開発および画像通信サービス開発に従事。1988年 ATR 通信システム研究所。2008年より NTT サイバースペース研究所長。2010年 NTT アイティ(株) 取締役を経て, 現在, NTT テクノクロス(株) 技師長。2013-16年 本学会副会長。2017年 画像電子学会会長。主な著書(共著)『デジタル・ビジュアル通信技術』, 『デジタル情報表現の基礎—音声・画像の符号表現』。1992年 映像情報メディア学会鈴木記念賞受賞。2015年 画像電子学会フェロー。工学博士。【2019年度: 監事】
任期2年 (改選 任期2022年3月まで) *再任		
榎並 和雅	東京工業大学	1971年東京工業大学卒, 同年 NHK 入局, 同放送技術研究所にて番組制作技術などの研究推進, 02年 NHK 総合企画室〔デジタル放送推進〕担当局長, 04年 NHK 放送技術研究所所長。06年から情報通信研究機構に移り, 同ユニバーサルメディア研究センター長, 08年同けいはんな研究所長, 10年同理事, 13年同脳情報通信融合研究センター副センター長, 14年東京工業大学監事(常勤)現職。博士(工学)。超臨場感コミュニケーション産学官フォーラム会長代理, 映像情報メディア学会元副会長・現名誉会員, IEEE フェロー。市村学術賞, 放送文化基金賞, 映像情報メディア学会論文賞, 前島賞 受賞。2014-15年本学会会長。【2019年度: 監事】【再任】